

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

72

2023/1



謹 賀 新 年

本年も大洲中央病院を
どうぞよろしくお願ひします。

社会医療法人北斗会 大洲中央病院 理事長 院長
大久保 啓二



新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症も3年目となり、いまだ終息とは言えない状況が続いています。また、2月からはウクライナ戦争が始まり、世の中の動向から目が離せない事態が続いています。皆様のご家庭では穏やかな年始が迎えられていることを願うばかりです。

新型コロナウイルス感染症は、現在第8波とも言える状況がみられています。ただ幸いなことに死亡率は1/10まで低下しています。ワクチン接種率も向上し、事態は沈静化してきていると感じます。今年は徐々に治まりつつあることを願っています。

さて令和5年はどのような1年になるのでしょうか。人流や商業活動などは、少しずつ活気を取り戻しつつあるようです。この2年間の辛抱の反動で多方面での活動が活発化し、躍動が感じられる年になるように祈っています。一方私たちの医療現場では、新型コロナウイルス対応もある程度慣れてきており、日常業務との連携もスムーズとなり、地域の住民の方に安心を提供できる体制となってきています。またこれらの対策の中で、保健所を中心として圏域の医療機関の連携を強める動きがみられています。昼夜問わず対策に奔走された保健所の活動には、深く感謝申し上げます。このような中で始まる新年ですが、大きな課題があります。社会活動が停滞した2年間で、人口減少・高齢化が加速しています。地域にとって、そして医療体制を維持する地域行政にとっても、大きな問題として迫っています。私たちも、保健所・圏域の医療機関とさらなる協力体制を築いて、この地域の健康を守る努力を続けて参りますのでよろしくお願いいたします。



検査時には、方法や時間などを丁寧にご説明して、スムーズに検査が行えるようにしています

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【超音波検査】

病気の診断や治療効果の判定には、様々な臨床検査が用いられます。臨床検査とは、人体に対して行われる検査で、血液・尿・便などを調べたり、脳波や心電図などを測定したりする検査のことです。これらを専門に行う部門が検査科で、当院には臨床検査技師4名と検査補助者1名が所属しており、検体検査や生理機能検査などを行っています。今号では、当院の検査科についてご紹介させていただきます。

検査業務

検査科で行う主な検査には、検体検査と生理機能検査があります。

検体検査は、患者さんの身体から採取した血液や尿、便などを調べる検査です。皆さんも受診されたら、血液検査や尿検査を受けられることも多いかと思います。血液の検査にも様々な種類があり、血液中の白血球・赤血球の数や形態を検査し、炎症の程度、貧血の有無などを調べる血液学的検査や、脳梗塞や心筋梗塞で服用する血液をサラサラにする薬の効果を見るなど、血液を凝固させる成分を分析する凝固能検査などがあります。また、血液中の酵素、脂質、糖質、ホルモン、腫瘍マーカーなどを測定し、臓器の異常を把握する生化学的検査もあります。その他にも、輸血を行

う際には、血液型検査や輸血する血液が患者さんの血液と適合するのかが検査する交差適合試験を行います。尿検査では、尿中の成分を測定し、腎臓や膀胱などの状態を調べます。

現在各検査の自動化が進み、自動分析装置を使用して検査データを出すことが多いですが、分析装置を用いず顕微鏡で細胞成分などを調べる検査もあります。



顕微鏡検査

生理機能検査とは、直接患者さんの身体に触れて、専用の医療機器を用いて行う検査です。不整脈や心筋梗塞などを調べる心電図検査や、動脈硬化を評価する足関節上腕血圧比/脈波伝播速度(ABI/PWV)検査、息切れなどの症状があるときに呼吸器の状態を調べる肺機能検査、超音波を用いて体内の組織を画像化して脂肪肝や

胆石などの異常の有無を調べる超音波検査などがあります。

検査科では、24時間いつでも検査ができる体制を整え、正確な検査データを速やかに医師に提供しています。また、日々の業務では早出勤務を行い、入院患者さんの検査データを早めに報告し、医師の早期診断・治療に繋がるようにしています。それにより、外来診療中は、外来患者さんの検査を迅速に報告することができ、待ち時間短縮にも役立っています。



自動分析装置

処置や手術の補助業務

検査技師の業務は、検査科内での検査に加え、処置や手術の補助業務も行っています。その一つに、超音波検査装置を用いた中心静脈カ

テーテル挿入の介助業務があります。以前は、医師の技量を頼りに挿入していましたが、より安全に行うために超音波装置を用いて血管を確認しながら挿入するようになりました。また、脳動脈瘤のクリッピング術が行われる際には、経頭蓋運動誘発電位モニタリングを担当し、術後の運動神経麻痺の出現を予防しています。

患者さんへの指導

検査科では、糖尿病の患者さんに自己血糖測定器の使用方法について指導を行っています。自己血糖測定器は、専用の穿刺器具で指の先から血液を出し、それを測定器に付ければ、家庭でも簡単に血糖値を測定することができます。しかし、使用方法を守らなければ正しく測定できないため、患者さんに注意点を説明し、正確な血糖値が得られるように指導しています。また、使用した針は医療廃棄物になるため、廃棄用の容器をお渡しして検査科で回収しています。

患者さんへの説明

正確な検査データを得るためには、患者さんの協力が不可欠です。患者さんに検査の目的や検

査の過程・注意事項を説明し、協力して頂いています。心電図など数分で終わる検査がある一方で、脳波検査は1時間程かかります。検査を受ける患者さんにはもちろんですが、付き添われているご家族にも検査の所要時間をお伝えし、ご理解とご協力をお願いしています。

外部精度管理への参加

外部精度管理は、多数の医療機関が同一の疑似検体を測定し、平均値と差がないかを評価するものです。当院では、日本臨床衛生検査技師会の精度管理に参加し、全国の平均値に合った数値が出ていることを確認しています。

チーム医療

検査科では、ICT(感染防止チーム)、AST(抗菌薬適正使用支援チーム)、NST(栄養サポートチーム)、褥瘡対策チームに参加し、得られた患者さんの情報を多職種で共有しています。特に、ICTにおいては、感染対策ニュースの発行や、入院患者さんの感染症の原因菌を集計して定期的に報告をしています。チーム活動においては、他職種からの検査情報に関する質問に分か

りやすく答えることで、検査情報を有効に活用し、治療や院内感染防止対策にも役立てることが出来るように努めています。



ICTミーティング

医療の高度化に伴い、検査の種類は増加し、測定装置も高度化・多様化しています。このような状況下において、臨床検査技師には常に新しい知識や技術の向上が求められています。当院では、特に超音波検査に力を入れており、認定超音波専門医である大久保院長の指導の下、これまでに3名が認定超音波検査士の資格を取得しています。これからも自己研鑽に努め、信頼性の高い検査結果を提供し、地域の皆さんが安心して治療を受けられるよう、検査科一同努力してまいります。

からだに効く
レシピ

レモンマーマレードで作る ホットレモネード

■材料

レモン	5個
砂糖	250～300g
熱湯	150ml
レモンスライス	1切れ
はちみつ	お好みで

■作り方

- ①レモンの外皮を剥く。白い部分は苦みがあるため取り除く。
- ②外皮を細切りにし、沸騰した湯で5分茹でこぼす。茹でこぼしを2回行い、水にさらしておく。
- ③実の部分を果肉、薄皮、種に分け、薄皮と種はお茶パックに入れる。
- ④鍋に果肉、茹でこぼした外皮、砂糖、お茶パックを加え、火にかける。
- ⑤全体にとろみがついたらお茶パックを取り出し、好みにとろみになるまで煮詰める。熱いうちに煮沸した瓶に詰めて粗熱を取る。＜保存は冷蔵庫で2週間をめやすに＞
- ⑥出来上がったレモンマーマレード大さじ1、熱湯150mlを入れてよく混ぜ、レモンスライスを浮かべる。好みではちみつを加え、甘さを調整する。

Point!

種や薄皮に含まれる
ペクチンの働きで
ジャムにとろみがつきます

大洲中央病院栄養科



『日ざしやす街角』
平井利明作

すぐそばにある絵画
院内美術館
38

フランス・プロバンスの街角にお招きします

今回も前回に続き、待合ホールにある平井利明さんの『日ざしやす街角』。一水会に入選後、渡欧し、フランスのプロバンスの街角を描いたものです。風景を故意に歪曲せず忠実に表現するのが一水会の特徴。見ているだけで、美しい街角にさすやわらかい日ざしが包み込んでくれるようです。ぜひ立ち止まってご覧ください。

平井利明(ひらいとしあき)／1947年生まれ／洋画家。1972年に一水会初出展、初入選。渡欧を繰り返し、安井奨励賞・優秀賞を受賞。一水会委員。奈良県出身。

次号は大河原典子作
「光彩」を紹介いたします。

医療安全対策地域連携会議が 開催されました

11月14日に、市立宇和島病院とJCHO 宇和島病院から医療安全管理責任者の方々が来院され、年1回の医療安全対策地域連携会議が行われました。当院では、令和元年度から医療安全対策地域連携会議に参加しており、他施設の外部評価を受けることで、安全管理上の問題点が明らかになり、当院の医療安全対策の改善に繋がっています。

今回は、放射線科と急性期病棟をラウンドして頂き、私たちが日々実践している医療安全に関する取り組みや、医療機器や医薬品の取扱い等の課題についてご指摘頂きました。また、自施設で実際に発生したインシデント事例を踏まえて、実施されている対策についても詳しく指導して頂きました。指摘して頂いたシステムや手順を見直し更なる改善に繋げると共に、今後も職員全員が医療安全に対する意識を高め、患者さんにより安全な医療が提供できるよう取り組んでまいります。



医療安全管理者 蔵田 麻由巳

高齢者看護学実習生を受け入れました

10月13日から12月4日までの間に2期に分けて、人間環境大学松山看護学部の学生8名を受け入れ、高齢者看護学実習を行いました。この実習の目的は、老年期を生きる人々とその家族を理解し、在宅復帰支援とその課題を明らかにすること、また、他職種と協働して提供される支援や社会資源の活用について学び、高齢者が尊厳を持って最期まで生活できる看護支援活動と高齢者看護を考察することです。

学生さんは、実習初日は緊張もあり、患者さんどのように関われば良いか悩んでいる様子もありましたが、スタッフの対応を見学することで徐々にコミュニケーションが取れるようになり、どの学生さんも真摯に患者さんと向き合っていました。また、患者さんも学生さんに関わることで「楽しい時間を過ごすことができた」と喜んで頂きました。指導する私たちが学生さんの違う視点からの意見や感想はとても刺激になり、初心に返ることができ、更なる学びとなりました。コロナ禍ではありましたが、快く実習生を受け入れて下さった患者さんやご家族の方には感謝の気持ちで一杯です。学生さんには、この実習の経験を活かして素敵な看護師になって頂きたいと願っています。



東館2階病棟 大西 千代

クリスマスのイルミネーションを 点灯しました

当院では、サービス改善委員会が中心となって、患者さんやご家族の方に少しでもクリスマスの雰囲気を感じて頂きたいと毎年クリスマスコンサートを行っていました。しかし、コロナ禍の影響で2020年から開催できない状況が続いていました。そこで、感染対策を講じながらクリスマスの雰囲気を楽しんで頂きたいと思い、昨年度は回復期リハビリテーション病棟の屋上庭園の樹木にイルミネーションの飾りつけを行い、入院患者さんに喜んで頂きました。今年度は、更に電飾の数を増やし、外来駐車場の樹木に飾りつけを行って、12月8日からイルミネーションの点灯を開始しました。また、12月2日には総合受付と回復期リハビリテーション病棟や療養病棟のデイルームに、クリスマスツリーを飾りました。キラキラしたツリーやイルミネーションを見ることで、患者さんやご家族の方々に子供の頃のワクワクした瞬間を思い出して頂いて、少しでも穏やかな気持ちになって頂けたら幸いです。



本館3階病棟師長 竹岡 照枝

外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1診	上原 貴秀	休診日	大久保啓二	大久保啓二	上原 貴秀	大久保啓二
	2診	岡本 傳男		岡本 傳男	上原 貴秀	岡本 傳男	岡本 傳男
	3診	井上 明子		井上 明子	井上 明子	大久保啓二	非常勤
	4診	浅川 建史		清家 愛理	清家 愛理	非常勤	浅川 建史
外科	1診	森岡 徹	休診日	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹
	2診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
整形外科	1診	山下 優嗣	休診日	山下 優嗣	山下 優嗣	愛大医師	山下 優嗣
	2診						吉鷹 輝仁 藤澤 圭史
泌尿器科		清水 公治		清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経外科	1診(新患)	相原 寛		相原 寛	西川 真弘	重川 誠二 末廣 諭	橋本 尚樹(第1) 重川 誠二(第3) 戸田 茂樹(第2-4)
	2診(再診)	西川 真弘		西川 真弘	西原 潤		西原 潤
形成外科						眞田紗代子(第1-3-5) 森 秀樹(第2-4)	

受付時間 午前8時00分～午前11時30分
診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり)
休診日 救急診療のみ… 1月1日(日)、2月11日(出)、4月29日(出)
休診日… 1～4月 休診日… 火曜、水曜、1月9日(月)、2月23日(休)
お見舞い・面会時間 現在、新型コロナウイルス感染予防のため面会は中止しています。
※4月から整形外科担当医師が一部変更になります。

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院 (日は18:00まで)
- 日曜日…市立八幡浜総合病院(18:00～)
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院(昼)、喜多医師会病院(夜)
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜総合病院(夜)

編集後記

令和4年の世相を表す漢字は「戦」でしたが、私の令和4年を表す一文字は「改」でした。長引くコロナ禍で、当たり前ができなくなった日々が長期にわたり続き、衣食住全てにおいて改めて感謝することができました。令和5年の干支は癸卯(みずのと・う)で「寒気が緩み、萌芽を促す年」と言われています。コロナ禍以降、停滞し続けていた世の中に、そろそろ希望の芽吹く春がやってくるのではないかと期待されています。今まで培ってきた力が試される年であるとも言われており、最後まで諦めずに希望を持ち続けることが、明るい道を開く鍵になるようです。私自身の令和5年を表す漢字は「新」です。皆さまにも希望が芽吹く春が訪れることを祈っております。

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院
編集/広報委員会
東 研志(事務部長)/
京河 雅史(放射線科長)/竹岡 照枝(看護師長)
道休 由佳里(看護師長)/
木村 優志(リハビリテーション科)/
大西 修平(リハビリテーション科)/
藤岡 真里子(栄養科)/井上 明子(栄養科)/
黒田 都(医事課主任)/丸鬼 宏美(総務課)



社会医療法人 北斗会
大洲中央病院

